

## 福岡北九州高速道路公社

福岡北九州高速道路公社は、地域の地方的な幹線道路の整備を促進して、交通の円滑化を図り、住民の福祉の増進と産業経済の発展に寄与することを目的として、北九州市及び福岡市並びにその周辺地域において指定都市高速道路の建設及び管理等の事業を行っています。

〔設 立〕	昭和 46 年 11 月 1 日
〔所 在 地〕	福岡市東区東浜二丁目 7 番 53 号 Tel 092-631-3282
〔目 的〕	地域の地方的な幹線道路の整備を促進して交通の円滑化を図り、住民の福祉増進と産業経済の発展に寄与する。
〔事 業〕	北九州市及び福岡市並びにその周辺地域における指定都市高速道路の建設及び維持管理業務等
〔基本財産〕	214,881,600千円 うち本市出資額 28,747,800千円(13.4%)
〔決算期〕	毎年3月31日
〔主務官庁〕	国土交通省
〔本市所管〕	建築都市局計画部都市交通政策課 (Tel 093-582-2518)

### 1 法人の組織

#### (1) 機構図

別図のとおり

#### (2) 役職員数

	人数	人数の内訳			平均年齢
		うち本市出向者	うち本市退職者	うちその他	
役員	7 人	1 人	0 人	6 人	60 歳
職員	188 人	15 人	0 人	173 人	47 歳

#### (3) 役員名

〔理事長〕	田中 康順	(専任)
〔副理事長〕	欠員	
〔理事〕	中原 潤一郎	〃
〔 〃 〕	江口 友弘	〃
〔 〃 〕	今任 収治	〃
〔 〃 〕	廣田 誠秀	(北九州市建築都市局担当理事)
〔監事〕	木下 政喜	(専任)
〔 〃 〕	(非常勤) 小幡 修	(福岡銀行取締役専務執行役員)

## 2 事業の概要等

- (1) 福岡市及び北九州市の区域並びにその周辺の地域において、その通行又は利用について、料金を徴収することができる指定都市高速道路の新設、改築、維持、修繕、道路法第 13 条第 1 項に規定する災害復旧その他の管理。
- (2) 国、地方公共団体、西日本高速道路株式会社又は他の道路公社の委託に基づく、(1)の指定都市高速道路の管理と密接な関連のある道路の管理。
- (3) 福岡市及び北九州市の区域並びにその周辺の地域において、その利用について料金を徴収することができる自動車駐車場の建設及び管理。
- (4) (1)～(3)までに掲げる業務に附帯する業務。
- (5) (1)～(4)までの業務の遂行に支障のない範囲内で、国、地方公共団体、西日本高速道路株式会社又は他の道路公社の委託に基づく、道路に関する調査、測量、設計、試験及び研究。
- (6) 福岡県知事の認可を受けて、(1)の指定都市高速道路の新設又は改築と一体として建設することが適当であると認められる事務所、店舗、倉庫、その他地方道路公社法施行令第 5 条に定める施設の建設及び管理。
- (7) 福岡県知事の認可を受けて、委託に基づいた(6)の業務。
- (8) 福岡県知事の認可を受けて、(6)及び(7)に掲げる業務に附帯する業務。

上記の業務内容のうち、有料の自動車専用道路を建設する場合には、まず道路法に基づく路線の認定（法第 8 条）、自動車専用道路の指定（法第 48 条の 2）、道路区域の決定（法第 18 条第 1 項）、都市計画法に基づく都市計画の決定（法第 18 条第 1 項）及び都市計画事業の認可（法第 59 条第 2 項）が必要となります。

さらに地方道路公社法に基づく基本計画に対する道路管理者の同意（法第 9 条第 2 項）、道路整備特別措置法に基づく指定都市高速道路事業についての道路管理者の同意（法第 16 条）、指定都市高速道路に対する国土交通大臣の許可（法第 12 条）を受けなければならないこととなっています。

### <北九州高速道路>〔整備計画〕

路線網の立案にあたっては、都心と市街地周辺との連結及び市内の各拠点間の連絡強化と都市内の交通混雑緩和を図ることを基本方針としています。

北九州市の都心小倉を南北に結ぶ高速 1 号線、小倉と戸畑を結ぶ高速 2 号線、高速 1 号線と高速 2 号線を結ぶ高速 3 号線、門司から八幡を東西に結ぶ高速 4 号線、八幡東区東田地区と高速 4 号線を結ぶ高速 5 号線の 5 路線、全長 49.5km で構成され、高規格幹線道路と連携した放射環状型の自動車専用道路網を形成しています。

#### （高速 1 号線）

小倉南区長野から国道 322 号等の上空を走行し小倉北区下到津に至る 9.2km の路線で、小倉南部の市街地及びその周辺地域と都心との連絡を図るほか、高速 4 号線とは、紫川ジャンクションにて接続し、北九州市の東西地域と小倉との連絡を図るものです。

さらに、九州縦貫自動車道と小倉東インターで直結し、東九州自動車道とともに北九州空港へのアクセス道路としての役割を果たすものです。

(高速2号線)

小倉駅から国道199号上空を走行し、戸畑を経て若戸大橋とを結ぶ4.3kmの路線で国道199号のバイパス的役割を果たすとともに、若松、戸畑方面と小倉との連絡強化を図るものです。

(高速3号線)

高速1号線と高速2号線とを愛宕ジャンクションと東港ジャンクションにて結ぶ1.8kmの路線です。

(高速4号線)

門司区春日から小倉北区、八幡東区を経て八幡西区馬場山まで東西に長く走行する31.8kmの路線で各都心の連絡を図るとともに、九州縦貫自動車道との接続により、北九州市と他都市との連絡を図るものです。

この路線は、平成3年3月31日に北九州道路と北九州直方道路を日本道路公団から引継ぎを受けたものです。

(高速5号線)

八幡東区東田地区と高速4号線(大谷ジャンクション)とを連絡する2.4kmの路線で、東田地区及びその周辺地域と小倉都心、黒崎副都心等との連絡強化や戸畑バイパス等市内幹線道路の交通混雑緩和を図るとともに、周辺の地域開発を支援するものです。

### 3 主な事業実績(平成19年度)

#### (1) 営業実績

長野～下道津、小倉駅北～若戸、愛宕JCT～東港JCT、春日～馬場山、枝光～大谷、計49.5kmの年間通行台数は33,902,858台、料金収入は約161億8,785万円でした。

また、公社全体における当期の経常収益は511億9,163万円、償還準備金繰入を除く経常費用が248億5,331万円となり、道路部門の当期利益に相当する償還準備金繰入が262億9,222万円、駐車場部門の当期利益が4,610万円となりました。

(利用促進)

回数券販売促進活動の一環として北九州地区のイベント参加やキャンペーン等を実施し、PR活動を展開しました。また、お客様サービスの充実を図るため、満足度調査を実施しました。

福岡高速では、種々のETC普及促進キャンペーンを実施し、年度末普及率で62.6%を達成しました。

#### (2) 建設事業実施概要

高速1～5号線(3号線を除く)

- ・ETC整備における料金機械設備や中央装置改良工事を実施しました。

高速4号線 春日～馬場山(31.8km)

- ・前年度に引き続き、道路の老朽化部分に対する大規模補修工事を実施しました。

4 市の関与の状況

(単位：千円)

区 分	平成18年度	平成19年度
出 資 金 の 状 況	26,869,300	27,684,300
補 助 金	0	0
委 託 料	49,000	172,100
貸 付 金 残 高	38,214,757	36,702,413
債務保証契約に係る債務残高	111,246,691	111,007,950

5 資産・収支の状況（平成19年度決算）

(1) 貸借対照表

平成20年3月31日現在（単位：円）

資 産 の 部		負 債 及 び 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>流 動 資 産</b>	<b>10,373,627,962</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>11,299,853,067</b>
現金・預金	1,556,344,629	未 払 金	10,311,188,819
未 収 収 益	22,420	未 払 費 用	926,540,320
未 収 金	8,810,822,462	預 り 金	60,962,420
その他の流動資産	6,438,451	前 受 収 益	1,151,232
<b>固 定 資 産</b>	<b>1,195,509,264,067</b>	仮 受 金	10,276
事業資産	1,135,466,170,246	<b>固 定 負 債</b>	<b>838,532,165,502</b>
（福岡高速道路）	770,703,916,895	福岡北九州高速道路債券	336,471,000,000
（北九州高速道路）	364,762,253,351	特別転貸債借入金	177,288,189,433
事業資産建設仮勘定	57,332,388,323	公営企業金融公庫借入金	14,576,151,136
道路建設仮勘定	57,332,388,323	政 府 借 入 金	186,165,218,963
（福岡高速道路）	57,332,388,323	長 期 借 入 金	115,489,000,000
（北九州高速道路）	0	退 職 給 与 引 当 金	1,507,959,043
有形固定資産	2,528,246,429	E T Cマイレージ引当金	145,303,564
建 物	2,297,541,336	資 産 見 返 交 付 金	6,889,343,363
構 築 物	74,191,680	<b>特 別 法 上 の 引 当 金 等</b>	<b>146,923,203,817</b>
機 械 ・ 装 置	22,595,434	道路事業損失補てん引当金	34,703,939,976
車 両 ・ 運 搬 具	49,464,094	（福岡高速道路）	20,791,860,107
工 具 ・ 器 具 ・ 備 品	42,803,885	（北九州高速道路）	13,912,079,869
土 地	41,650,000	償 還 準 備 金	112,219,263,841
無形固定資産	100,019,569	（福岡高速道路）	117,137,315,445
電話加入権	6,262,969	（北九州高速道路）	▲4,918,051,604
ソフトウェア	93,756,600	<b>（ 負 債 合 計 ）</b>	<b>996,755,222,386</b>
その他の仮勘定	72,439,500	<b>基 本 金</b>	<b>209,615,600,000</b>
投資その他の資産	10,000,000	地方公共団体出資金	209,615,600,000
敷金・保証金	10,000,000	<b>剰 余 金</b>	<b>623,009,713</b>
<b>繰 延 資 産</b>	<b>1,110,940,070</b>	利 益 剰 余 金	623,009,713
債券発行差金	829,940,944	<b>（ 資 本 合 計 ）</b>	<b>210,238,609,713</b>
証書借入金諸費	125,205,500	<b>負 債 及 び 資 本 合 計</b>	<b>1,206,993,832,099</b>
調 査 費	155,793,626		
<b>資 産 合 計</b>	<b>1,206,993,832,099</b>		

## (2) 損益計算書

自 平成 19 年 4 月 1 日  
至 平成 20 年 3 月 31 日 (単位：円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
<b>経常費用</b>	<b>51,145,528,146</b>	<b>経常収益</b>	<b>51,191,629,728</b>
<b>事業資産管理費</b>	<b>9,432,243,378</b>	<b>業務収入</b>	<b>50,882,144,219</b>
福岡高速道路管理費	5,574,574,272	道路料金収入	50,547,498,809
北九州高速道路管理費	3,756,430,428	(福岡高速道路)	34,359,639,646
福岡駐車場管理費	65,767,107	(北九州高速道路)	16,187,859,163
北九州駐車場管理費	35,471,571	駐車場料金収入	207,078,435
<b>一般管理費</b>	<b>1,114,847,790</b>	(福岡駐車場)	127,869,475
一般管理費	973,031,800	(北九州駐車場)	79,208,960
退職給与引当金繰入	27,161,691	道路業務雑収入	126,137,954
減価償却費	114,654,299	(福岡高速道路)	70,171,727
<b>引当金等繰入</b>	<b>28,682,758,420</b>	(北九州高速道路)	55,966,227
道路事業損失補てん引当金繰入	2,390,542,734	駐車場業務雑収入	1,429,021
(福岡高速道路)	1,619,692,298	(福岡駐車場)	1,000,000
(北九州高速道路)	770,850,436	(北九州駐車場)	429,021
償還準備金繰入	26,292,215,686	<b>受託業務収入</b>	<b>182,953,130</b>
(福岡高速道路)	19,382,600,090	福岡高速受託業務収入	3,453,130
(北九州高速道路)	6,909,615,596	北九州高速受託業務収入	179,500,000
<b>受託業務費</b>	<b>182,953,130</b>	<b>負担金事業受入金</b>	<b>758,205</b>
福岡高速受託業務費	3,453,130	北九州高速負担金事業受入金	758,205
北九州高速受託業務費	179,500,000	<b>業務外収益</b>	<b>125,774,174</b>
<b>負担金事業費</b>	<b>758,205</b>	受取利息	60,492,432
北九州高速負担金事業費	758,205	雑益	56,083,304
<b>業務外費用</b>	<b>11,731,967,223</b>	設立団体負担金	9,198,438
債券利息	5,963,668,546		
証書借入金利息	1,266,038,002		
借入金利息	4,236,364,023		
借入金等関係諸費	1,020,862		
債券発行差金償却	131,994,780		
証書借入金諸費償却	53,369,570		
雑損	79,511,440		
<b>当期利益金</b>	<b>46,101,582</b>		
<b>合計</b>	<b>51,191,629,728</b>	<b>合計</b>	<b>51,191,629,728</b>

(別図)

機 構 図

